

東証水係云々

一向し職之則の言ふが如く近頃来、社底埋へ、今此
側は四絶業用の切り出しを物々として移るなり。

本上立万々しくぬく。新機整定変化の言ふんれ
は、多岐條件就業と希望する職工をふよと云ふ。

臣々見せに一般職工側へ、今此が手廻つりたの不
況を如何にせ業肉好い意去りぬるやと疑ひつ、

可也。 或る方ニ多岐化ちあふり
く月10日 大佐 一又

783
12.8.17

村松時行工部争議の園子件し

同工部争議は其後登之振目か、毎口争集するを以て
二十名(月)の争議、船二隻(三周)の争議と

轉機を欲する所増加する所あり、一昨日は(争議)に
名以上の事にかゝるは、争議(争議)目下(争議)と

挽回(争議)を講じ、大勢(争議)を(争議)せしめ、

争議(争議)は(争議)を(争議)せしめ、(争議)の(争議)は(争議)せしめ、

争議(争議)は(争議)を(争議)せしめ、(争議)の(争議)は(争議)せしめ、

争議(争議)は(争議)を(争議)せしめ、(争議)の(争議)は(争議)せしめ、

野間